

雨水浸透阻害行為の許可申請に係る 手引き書

～太陽光発電敷地造成工事編～

本工事は、田畠等の耕作地を太陽光発電敷地として造成する工事であり、本申請は、
本工事に係る雨水浸透阻害行為に対する対策工事を行うものである。

雨水浸透阻害行為に対する対策工事としては、

- ・表面貯留型調整池の設置
を行い、行為前の流出量に対して、行為後の流出量が下回るよう対策を講じた。

太陽光発電敷地造成工事編

■ 許可申請に必要な書類

様式番号	名称	明示すべき事項
様式－1	現況土地利用区分面積集計表(行為前)	
様式－2	計画土地利用区分面積集計表(行為後)	
様式－3	行為前後の土地利用集計表	
様式－4	雨水浸透阻害行為前後の平均流出係数	
様式－5	雨水浸透阻害行為前後の雨水流出量の最大値	
様式－6	政令第9条第1項に規定する技術的基準に適合することを証する書類	
様式－8	貯留浸透施設の管理に関する実施計画書	
別記様式第1号	雨水浸透阻害行為に関する工事及び対策工事の計画説明書	工事の方針、行為区域内の土地の現況及び土地利用計画並びに対策工事に係る雨水貯留浸透施設の計画
別記様式第2	雨水浸透阻害行為許可申請(協議)書	

図面番号	名称	明示すべき事項
図面－1	行為区域位置図(縮尺 1/50,000 以上)	
図面－2	行為区域区域図(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－3	現況平面図(行為前)(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－4	現況土地利用求積図(行為前)(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－5	土地利用計画図(行為後)(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－6	土地利用計画求積図(行為後)(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－7	排水施設計画平面図(縮尺 1/2,500 以上)	排水施設の位置、排水系統、吐口の位置及び放流先の名称
図面－8	対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の位置図(縮尺 1/2,500 以上)	対策工事の計画位置又は計画区域及び集水域
図面－9	対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の計画図 雨水貯留浸透施設の形状(縮尺 1/2,500 以上) 雨水貯留浸透施設の構造の詳細(縮尺 1/500 以上)(プラスチック製品の品質証明書)	平面図、縦断面図及び横断面図 流入口及び放流孔の構造を含むものであること。
図面－10	標識設置位置図(縮尺 1/500 以上)	

資料番号	名称	明示すべき事項
資料－1	土地の登記事項を示す書類(全部事項証明書の写し)	
資料－2	公図の写し	
資料－3	開発許可等に伴う対策量算定結果	
資料－4	事業概要説明書、事業概要図	
資料－5	現況写真(写真撮影位置図を添付)	
資料－6	工事工程表	
資料－7	その他必要な資料(委任状、印鑑証明の写し、同意書の写し)	

太陽光発電敷地造成工事

關係樣式目錄

現況土地利用区分面積集計表（行為前）

樣式 – 1

(单位: ha)

計画土地利用区分面積集計表（行為後）

樣式 – 2

(单位: ha)

行為前後の土地利用集計表

様式－3

土地利用区分	①欄 様式－1 現況土地利用面積 (ha) ①	②欄 様式－2 計画土地利用面積 (ha) ②	③欄 面積差 (ha) ②-①	④欄 雨水浸透阻害行為の当該面積 ③欄が(+)の場合、原則該当該当の場合面積 (ha) を記入	参考	備 考
宅地等	宅地		0.2000	0.2000	0.2000	0.9
	池沼					1
	水路					1
	ため池					1
	道路(法面を有しないものに限る。)					0.9
	道路(法面を有するものに限る。)					加重平均
	鉄道線路(法面を有しないものに限る。)					0.9
	鉄道線路(法面を有するものに限る。)					加重平均
	飛行場(法面を有しないものに限る。)					0.9
	飛行場(法面を有するものに限る。)					加重平均
舗装された土地	小計		0.2000	0.2000	0.2000	
	コンクリート等の不浸透性の材料により覆われた土地(法面を除く)					0.95
	コンクリート等の不浸透性の材料により覆われた法面					1
その他土地 からの流出 雨水量を増 加させるお それのある 行為に係る 土地	小計					
	ゴルフ場(雨水を排除するための排水施設を伴うもの)					0.5
	運動場その他これに類する施設(雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る。)					0.8
	ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められた土地					0.5
上記に掲げ る土地以外 の土地	小計					
	山地					0.3
	人工的に造成された植生に覆われた法面					0.4
	林地、耕地、原野その他ローラーその他これに類する建設機械を用いていない土地	0.2000		-0.2000		0.2
合 計	小計	0.2000		-0.2000		
		0.2000	0.2000	0.0000	0.2000	

(-)の欄は記載不要

(単位: ha)

④欄の合計 0.2000 ha

0.1ha (1,000m²) 以上の場合、申請の対象

申請の対象となる面積であるか

行為区域の所在が正しく記載されているか

様式-4

雨水浸透阻害行為前後の平均流出係数

行為区域位置 住所 : ○○市○○区○○町
 行為面積 0.2000 h a
 行為前後の土地利用区分

区分	土地利用の形態の細区分	流出係数	行為前面積 (ha)	行為後面積 (ha)
宅地等に該当する土地	宅地	0.90		0.2000
	池沼	1.00		
	水路	1.00		
	ため池	1.00		
	道路(法面を有しないもの)	0.90		
	道路(法面を有するもの)			
	鉄道線路(法面を有しないもの)	0.90		
	鉄道線路(法面を有するもの)			
	飛行場(法面を有しないもの)	0.90		
	飛行場(法面を有するもの)			
宅地等以外の土地	関第2連号	不浸透性材料により舗装された土地 (法面を除く)	0.95	
		不浸透性材料により覆われた法面	1.00	
	第3号関連	ゴルフ場(雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.50	
		運動場その他これに類する施設(雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.80	
		ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められた土地	0.50	
	土第上地3記以外に1の掲号土げか地るら	山地	0.30	
		人工的に造成され植生に覆われた法面	0.40	
その他		林地, 耕地, 原野その他ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められていない土地	0.20	0.2000
面積計			0.2000	0.2000
平均流出係数			0.200	0.900

※ 様式-1, -2, 図面-3, -4, -5, -6参照

雨水浸透阻害行為前後の最大雨水流出量

合理式 $Q = 1/360 \cdot f \cdot r \cdot A$ 行為区域に該当する流域と一致しているか

Q: 流量(m^3/s)

f: 流出係数(様式-4より)

r: 最大降雨強度(10分間)(mm/h)(○○流域基準降雨より)

A: 集水面積(ha)(様式-4より)

① 行為前の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times 0.200 \times 124.6 \times 0.2000 = 0.01384 m^3/s$$

② 行為後の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times 0.900 \times 124.6 \times 0.2000 = 0.0623 m^3/s$$

よって、

$$0.06230 m^3/s - 0.01384 m^3/s = 0.04846 m^3/s$$

0.04846 m^3/s 分をカットする対策が必要。

平面・詳細図に示す規格と整合は図れているか

樣式-6

政令第9条第1項に規定する技術的基準に適合することを証する書類

流出抑制施設諸元

調整池諸元	
放流口底(2段オリフィスの場合: 上・下段の両諸元を記載)	
放流口形状	下段
	形状 円
	直径 0.150
	高さ 幅
管底位置(池底から)	
0.100	

調整池が複数ある場合エリアごとに明記
容量の端数は切り捨て表記

浸透施設諸元
浸透能力

浸透能力 m3/s

空隙貯留量諸元 空隙貯留量

m3

【浸透マス】	単位設計浸透能(m ³ /hr/個) 比浸透量(m ³)	飽和透水係数 (m/hr)	設置数量 (個)	影響係数		
				(1) 内容(1)	(2) 内容(2)	(3) 内容(3)
1				1.00	1.00	1.00
2				1.00	1.00	1.00
3				1.00	1.00	1.00
4				1.00	1.00	1.00
5				1.00	1.00	1.00
6				1.00	1.00	1.00
7				1.00	1.00	1.00
8				1.00	1.00	1.00
9				1.00	1.00	1.00
10				1.00	1.00	1.00

【浸透マス】	体積 (m ³)	空隙率 (%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

明記	単位設計浸透能(m ³ /hr/m)	設置数量 (m)	影響係数		
			(1) 内容(1)	(2) 内容(2)	(3) 内容(3)
比浸透量(m ¹)	飽和透水係数 (m/hr)		1.00	1.00	1.00
			1.00	1.00	1.00
			1.00	1.00	1.00
			1.00	1.00	1.00
5			1.00	1.00	1.00
6			1.00	1.00	1.00
7			1.00	1.00	1.00
8			1.00	1.00	1.00
9			1.00	1.00	1.00
10			1.00	1.00	1.00

【浸透トレーナ】	体積 (m3)	空隙率 (%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【透水性舗装】	單位設計浸透能(m3/ hr/ m ²)		設置數量 (m ²)	影響係數		
	比浸透量(m ³)	飽和透水係數 (m/ hr)		(1) 內容(1)	(2) 內容(2)	(3) 內容(3)
1				1.00	1.00	1.00
2				1.00	1.00	1.00
3				1.00	1.00	1.00
4				1.00	1.00	1.00
5				1.00	1.00	1.00
6				1.00	1.00	1.00
7				1.00	1.00	1.00
8				1.00	1.00	1.00
9				1.00	1.00	1.00
10				1.00	1.00	1.00

【透水性塗装】	体積 (m3)	空隙率 (%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【その他】	単位設計浸透能(m ³ /hr/単 比浸透量(m ³))	設置数量 (単位) 飽和透水係数 (m/hr)	影響係数		
			(1) 内容(1)	(2) 内容(2)	(3) 内容(3)
1			1.00	1.00	1.00
2			1.00	1.00	1.00
3			1.00	1.00	1.00
4			1.00	1.00	1.00
5			1.00	1.00	1.00
6			1.00	1.00	1.00
7			1.00	1.00	1.00
8			1.00	1.00	1.00
9			1.00	1.00	1.00
10			1.00	1.00	1.00

【その他】	体積 (m ³)	空隙率 (%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

題節計算結果

様式-5 (雨水浸透阻害行為の最大雨水流出量) の 「①行為前の最大雨水流出量」を下回っているか

軸ラベル、凡例等グラフが正しく記載されているか

貯留浸透施設の管理に関する実施計画書

特定都市河川浸水被害対策法第3条により特定都市河川流域の指定を受けた〇〇川流域において、法第30条「雨水浸透阻害行為の許可」を受けるにあたり法第32条（許可の基準）に基づく対策工事として設置した雨水貯留浸透施設の機能を十分に発揮・維持させるため、下記に基づき管理を実施する。

記

- 第1条 この管理実施計画書の対象とする雨水貯留浸透施設は、次に所在するものとする。
所在地 〇〇〇〇
- 第2条 この管理実施計画書を実施する責任者（実質管理者）は以下の者とする。
氏名 〇〇〇〇
- 第3条 この管理実施計画書において雨水貯留浸透施設とは、雨水浸透阻害行為による流出雨水量の増加を抑制するために施行した雨水を一時的に貯留し、又は浸透させる施設をいい、具体的には、貯留機能又は浸透機能を発揮するための敷地、浸透枠、浸透側溝、調整池の総体をいう。
- 2 雨水貯留浸透施設の位置、範囲及び機能の概要は、別図のとおりとする。
(別図：平面図、標準横断図、構造図)
- 第4条 管理者は雨水貯留浸透施設に関し、その機能を維持する上で必要な範囲内において、別表に示す点検作業（定期点検、緊急点検、機能点検）を実施するとともに、点検作業で必要が認められた場合には清掃、修繕工事等を行うものとする。
- 2 また、維持管理作業の内容は施設台帳や維持管理記録を作成し保管するとともに、その後の維持管理に役立てるものとする。
- 第5条 雨水貯留浸透施設の管理者を変更する場合や管理者を複数に分割する場合は、新たな管理者が当該施設の維持管理を引き継ぐこととする。
- 第6条 雨水貯留浸透施設の機能を損なうおそれのある以下の行為を行う場合には法第39条に基づいてあらかじめ都道府県知事の許可を得るものとする。
- ・雨水貯留浸透施設の全部又は一部の埋め立て
 - ・雨水貯留浸透施設の敷地である土地の区域における建築物等の新築、改築又は増築
 - ・雨水貯留浸透施設が設置されている建築物等の改築又は除去
 - ・そのほか雨水貯留浸透施設が有する雨水を一時的に貯留し、又は地下に浸透させる機能を阻害するおそれのある行為
- 第7条 宅地又は、建物の売買にあたっては、宅地建物取引業法に基づく手続きの際に、雨水貯留浸透施設の機能を阻害するおそれのある行為（法第39条）を行う場合は許可が必要であること、および標識の移転等の行為（法第38条第5項）を行う場合は設置者の承諾が必要であることを重要事項説明（宅地建物取引業法第35条）に明記するものとする。
- 第8条 対策工事伴い設置する雨水貯留浸透施設の存在と維持管理者を表示した標識の保全に努めるものとする。

別表

分類	作業内容	頻度
点検作業	定期点検	年1回以上
	・破損、陥没、変形、蓋のずれ等の状況確認 ・ゴミ、土砂、枯れ葉等の堆積状況確認 ・樹根の進入状態の確認	
	緊急点検	地震時
清掃・修繕工事等	機能点検	定期点検の結果より必要に応じて代表施設で実施
	清掃・土砂搬出等	点検作業で必要が認められた場合に実施
	修繕・補修工事等	・破損、陥没箇所及び劣化損耗箇所の補修・修繕・改良工事
	機能回復作業	・透水シートの交換洗浄・碎石の人力による洗浄又は高圧洗浄

雨水浸透阻害行為に関する工事及び対策工事の計画説明書

様式-6（政令第9条第1項に規定する技術的基準に適合することを証する書類）と整合が図れているか

る場合に、当該道路の名称、管理者（帰属先）

2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

別記様式第2（第16条関係）

許可申請 雨水浸透阻害行為 協議書		※手数料欄
第30条 特定都市河川浸水被害対策法の規定により、雨水浸透阻害行為 第35条		
許可を申請します。 協議		該当に○をする
○年○月○日 呉市長様 住所 ○○○○ 氏名 ○○○○		
雨水 浸透 阻害 行為 等の 概要	1 雨水浸透阻害行為の区域に含まれる地域の名称	○○○○
	2 雨水浸透阻害行為区域の面積	2,000 平方メートル
	3 雨水浸透阻害行為に関する工事の計画の概要	太陽光パネルを設置するための敷地造成工事 計画の詳細は別葉の計画説明書及び図面に記載
	4 対策工事の計画の概要	調整池の設置
	5 雨水浸透阻害行為に関する工事の着手予定日	○年○月○日
	6 雨水浸透阻害行為に関する工事の完了予定日	○年○月○日
	7 対策工事の着手予定日	○年○月○日
	8 対策工事の完了予定日	○年○月○日
	9 その他必要な事項	農地法第5条の規定による許可申請予定
※ 受付番号	年 月 日	呉 第 号
※ 許可に付した条件	他法令を記載	
※ 許可番号	年 月 日	呉 第 号

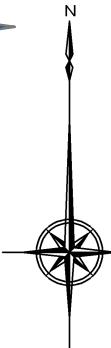
- 備考 1 「許可申請」「第30条」「許可を申請
協議」、「第35条」、「協議」について、該当するものを○で囲むこと。
- 2 許可申請者が法人である場合には、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載する。
- 3 ※印のある欄は記載しないこと。
- 4 雨水浸透阻害行為に関する工事の計画及び対策工事の計画については、概要の記述の末尾に「(計画の詳細は、別葉の計画説明書及び計画図による。)」と記載し、それぞれ計画説明書及び計画図を別葉とすること。
- 5 「その他必要な事項」の欄には、雨水浸透阻害行為を行うことについて、都市計画法、農地法その他の法令による許可、認可等を要する場合には、その手続の状況を記載すること。

太陽光発電敷地造成工事

關係樣式目錄

行為区域位置図

方位と縮尺を示すこと



S=1:2,000

接続先道路及び主要道路を示すこと

放流先施設を示すこと

行為区域周辺の主要な公共施設等を示すこと

行為区域が分かるように表示

航空写真でも可

凡 例

色 别	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域

縮尺 1/50,000以上

工事名	太陽光発電敷地造成工事		
図面名	行為区域位置図		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:2000	図面番号	1
会社名	oooooooooooo		
事業者名	oooooooooooooooo		

行為区域区域図

方位と縮尺を示すこと

現況区域住所：〇〇〇〇

現況區域敷地面積：2,000m²

6.0m

○○区○○号縁

県界、市町界等がある場合明示すること

行為区域が分かるように表示

土地の地番を示すこと

接続先道路等関連する
公共施設を示すこと

烟

凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域

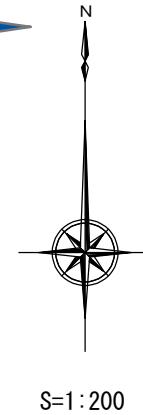
縮尺 1/2,500以上

工事名	太陽光発電敷地造成工事		
図面名	行為区域区域図		
年月日	令和〇年〇月〇日		
縮尺	S=1:200	図面番号	2
会社名	○○○○○○○○○○○○		
事業者名	○○○○○○○○○○○○○○		

現況平面図(行為前)

方位と縮尺を示すこと

.0m



S=1:200

○○區○○○號線

行為区域が分かるように表示

現況土地利用区分を示すこと

畠

凡 例	
色 別	種 別
■	雨水浸透阻害行為の区域
■	林地、耕地、原野、その他..

縮尺 1/2,500以上

工事名	太陽光発電敷地造成工事		
図面名	現況平面図（行為前）		
年月日	令和〇年〇月〇日		
縮 尺	S=1:200	図面番号	3
会社名	○○○○○○○○○○○○		
事業者名	○○○○○○○○○○○○○○		

現況土地利用求積図（行為前）

方位と縮尺を示すこと

現況土地利用区分を示すこと

現況土地利用区分が複数含まれる場合
それぞれ求積すること

畠

行為区域が分かるように表示

求積方法を示すこと（座標求積、三斜求積、CAD）

縮尺 1/2,500以上

様式-1（現況土地利用区分面積集計表（行為前））と整合が図れているか
(単位がm²の場合は小数第一位を四捨五入した数字を様式-1に記入)

測點	Xn	Yn	Xn·(Yn+1 - Yn-1)	距離
k-1	-38.347	-2.222	1917.350000	50.000
k-2	-38.347	47.778	1917.350000	40.000
k-3	1.653	47.778	82.650000	50.000
k-4	1.653	-2.222	82.650000	40.000
倍面積			4000.000000	180.000
面積			2000.00	

凡 例	
色 別	種 別
■	雨水浸透阻害行為の区域
■	林地、耕地、原野、その他..

工事名	太陽光発電敷地造成工事		
図面名	現況土地利用求積図（行為前）		
年月日	令和〇年〇月〇日		
縮 尺	S=1:250	図面番号	4
会社名	○○○○○○○○○○○○		
事業者名	○○○○○○○○○○○○○○		

計画土地利用区分を示すこと

宅地 $S=2,000\text{m}^2$

行為区域が分かるように表示

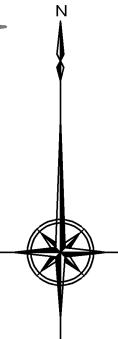
土地利用計画図(行為後)

方位と縮尺を示すこと

小堤延長 $L=45\text{m}$

接続先道路を示すこと

6.0m



関連する他法令は必要に応じて協議すること

道路加工・占用申請

○○区○○号線

小堤延長 $L=35\text{m}$

既存水路 $2000,1200 \times 800$

畠

様式-2(計画土地利用区分面積集計表(行為後))と整合が図れているか

太陽光パネル用地

調整池
調節容量 $V = 1344.00 \times 0.30 = 403.20\text{m}^3$
池底FH=99.50m

調整池諸元を示すこと

資材置場

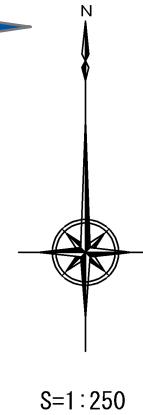
縮尺 1/2,500以上

凡 例			
色 别	種 别	面 積 (m^2)	率 (%)
■	宅 地	2000.00	100.00
■	雨水浸透阻害行為の区域	2000.00	100.00
■	調 整 池	1344.00	
■	市 道		
■	雨水排水施設		

工事名	太陽光発電敷地造成工事		
図面名	土地利用計画図(行為後)		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:200	図面番号	5
会社名	oooooooooooo		
事業者名	oooooooooooo		

土地利用計画求積図(行為後)

方位と縮尺を示すこと



行為区域が分かるように表示

k-

k-8

k-7

k-3

○○区○○線号

畠

k-6

k-2

k-1

求積方法を示すこと (座標求積、三斜求積、CAD)

凡 例	
色 别	種 别
■	宅 地
▨	調 整 池

面積集計表

宅地

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
k-1	-38.347	-2.222	1917.350000	50.000
k-2	-38.347	47.778	1917.350000	40.000
k-3	1.653	47.778	82.650000	50.000
k-4	1.653	-2.222	82.650000	40.000
倍面積			4000.000000	180.000
面積			2000.00	

調整池

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
k-5	-34.347	1.778	1442.574000	42.000
k-6	-34.347	43.778	1442.574000	32.000
k-7	-2.347	43.778	-98.574000	42.000
k-8	-2.347	1.778	-98.574000	32.000
倍面積			2688.000000	148.000
面積			1344.00	

様式-2 (計画土地利用区分面積集計表(行為後))と整合が図れているか
(単位がm²の場合は小数第一位を四捨五入した数字を様式-2に記入)

縮尺 1/2,500以上

工事名	太陽光発電敷地造成工事	
図面名	土地利用計画求積図(行為後)	
年月日	令和〇年〇月	
縮 尺	S=1:250	図面番号 6
会社名	oooooooooooo	
事業者名	oooooooooooo	

排水施設計画平面図

方位と縮尺を示すこと

宅地 $S=2,000m^2$

行為区域が分かるように表示

小堤延長 $L=45m$

吐口の位置を示すこと

小堤 $FH=100.00m$

オリフィス樹

放流管

VU200

S=1:200

○○区OO号線

関連する他法令は必要に応じて協議すること

道路加工・占用申請

小堤延長 $L=35m$

畠

小堤 $FH=100.00m$

FH=99.50

太陽光パネル用地

調整池

調節容量 $V = 1344.00 \times 0.30 = 403.20m^3$

池底 $FH=99.50m$

調整池諸元を示すこと

資材置場

FH=99.50

小堤 $FH=100.00m$

小堤延長 $L=45m$

縮尺 1/2,500以上

既存水路 $2000,1200 \times 800$

小堤延長 $L=35m$

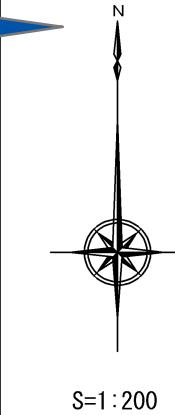
放流先を示すこと

凡 例	
色 别	種 别
■	雨水浸透阻害行為の区域
■	雨水排水施設
■	貯留施設

工事名	太陽光発電敷地造成工事	
図面名	排水施設計画平面図	
年月日	令和〇年〇月	
縮 尺	S=1:200	図面番号 7
会社名	oooooooooooo	
事業者名	oooooooooooo	

対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の位置図

方位と縮尺を示すこと



宅地 $S=2,000\text{m}^2$

周辺流域の影響がある場合、
必要に応じて集水区域を明示すること。
(マニュアルp3-2参照)

行為区域が分かるように表示

小堤延長 $L=45\text{m}$

小堤 $FH=100.00\text{m}$

オリフィス樹

放流管

VU200

6.0m

○○区○○号線

S=1:200

関連する他法令は必要に応じて協議すること

道路加工・占用申請

畠

小堤延長 $L=35\text{m}$

対策工事に係わる雨水貯留浸透施設

凡 例		
	調整池	1344.00m ²
	オリフィス樹	1個
	放流管	4.65m

太陽光パネル用地

調整池
調節容量 $V = 1344.00 \times 0.30 = 403.20\text{m}^3$
池底FH=99.50m

資材置場

動水勾配及び方向を示すこと

調整池諸元を示すこと

小堤 $FH=100.00\text{m}$

小堤延長 $L=45\text{m}$

縮尺 1/2,500以上

凡 例	
色 别	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域

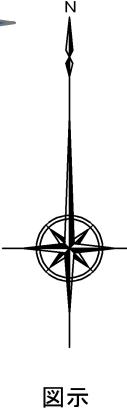
工事名	太陽光発電敷地造成工事	
図面名	対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の位置図	
年月日	令和〇年〇月	
縮 尺	S=1:200	図面番号 8
会社名	oooooooooooo	
事業者名	oooooooooooo	

対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の計画図

区域境界を示すこと

雨水浸透阻害行為区域

方位と縮尺を示すこと



図示

調整池断面図
S=1:100

土地利用区域を示すこと

調整池

必要に応じて適宜縦横断図を追加すること

侵入防止フェンス
曲忍付 H=1.800

1.0m
1.2.0
1.2.0
天端FH=100.00m

天端FH、池底FH、HWL、水位Hを示すこと

調整池

小堤内に太陽光パネルやフェンス等施設が干渉しない構造とすること

雨水浸透阻害行為区域

侵入防止フェンス
曲忍付 H=1.800

※道路加工施工承認
・占用承認申請範囲

水路
VU φ 200
1.05
800
400 1,200 400
2,000

凡 例	
色 别	種 別
-----	雨水浸透阻害行為の区域

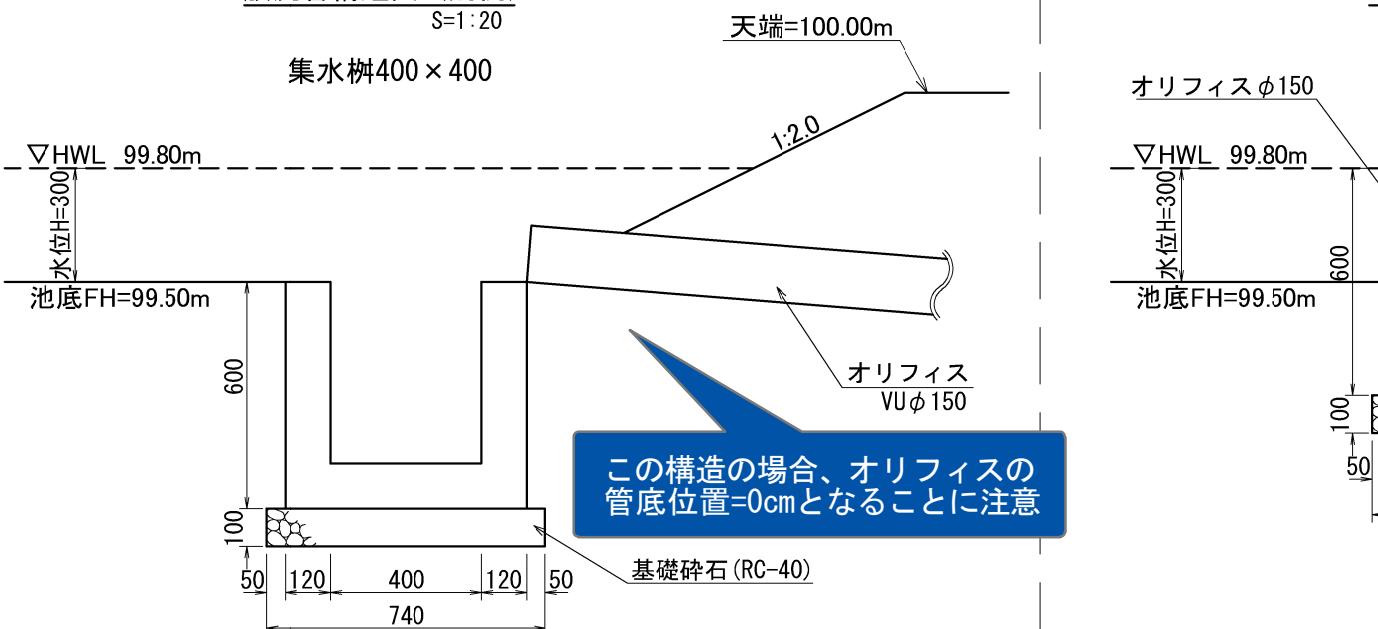
流末への接続断面を示すこと
放流先へ適切に排水される構造とすること

放流管構造図 (別例)

S=1:20

集水樹400×400

天端=100.00m



放流管構造図

天端=100.00m
余裕高を10cm以上設けること

放流管構造図
S=1:20

集水樹400×400

天端=100.00m

オリフィス φ150

グレーチング蓋

150以上

100 200

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

100 150

太陽光発電敷地造成工事

關係樣式目錄

表 題 部 (土地の表示)			調製		不動産番号	
地図番号		筆界特定	余白			
所 在				余白		
① 地 番	②地 目	③ 地 積 町 反 収 歩 (間)	原因及びその日付【登記の日付】			
■■■■■	■■■■■	■■■■■	余白			
余白	余白	■■■■■				
余白	余白	余白				

所在と一致しているか

権 利 部 (甲 区) (所 有 権 に 関 す る 事 項)			
順位番号	登 記 の 目 的	受付年月日・受付番号	権 利 者 そ の 他 の 事 項
1	■■■■■	■■■■■	■■■■■ ■■■■■
	余 白	余 白	■■■■■
2	■■■■■	■■■■■	■■■■■ ■■■■■

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

登記官

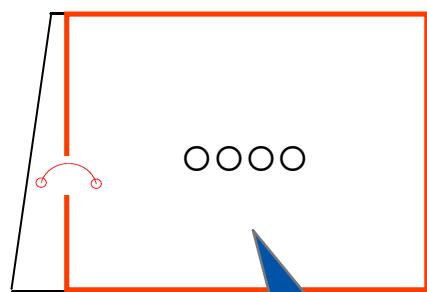
表題部 (土地の表示)			調製	不動産番号	
地図番号		筆界特定	[余白]		
所在				[余白]	
① 地番	② 地目	③ 地積	町 反 故 帯	原因及びその日付 [登記の日付]	
[余白]	[余白]	[余白]	[余白]	[余白]	
余白	[余白]				
余白	余白	余白			

所在と一致しているか

権利部 (甲区) (所有権に関する事項)			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1			
	[余白]	[余白]	
2			
3			

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

登記官



所在と一致しているか

凡 例	
色 别	種 別
■	雨水浸透阻害行為の区域



請求部分	所在	○○○○					地番	○○○○	
出力尺	△△	精度区分	△△	座標系 番号又 は記号	△△	分類	△△	種類	△△
作成年月日	令和〇年〇月〇日			備付年月日 (原図)	令和〇年〇月〇日			補記事項	

(1/1) 法務局から転写した年月日を示す
(インターネット登記情報提供サービス
を利用することも可)

写真位置図

畠

3

5

4

○○区○○○号線

凡 例

種 別

雨水浸透阻害行為の区域

林地、耕地、原野、その他..

工事名	太陽光発電敷地造成工事		
図面名	写真位置図		
年月日	令和〇年〇月〇日		
縮 尺	S=1:200	図面番号	資料-5(位置図)
会社名	○○○○○○○○○○○○		
事業者名	○○○○○○○○○○○○○○		

A vertical compass rose is positioned on the left side of the map. It features a vertical line with a double-headed arrow at the top, labeled 'N' for North. Below this is a circular compass rose with eight points, indicating cardinal and intercardinal directions. To the right of the compass rose is a scale bar consisting of a horizontal line with tick marks at both ends, labeled 'S=1:200' below it.

現況写真

写真-①

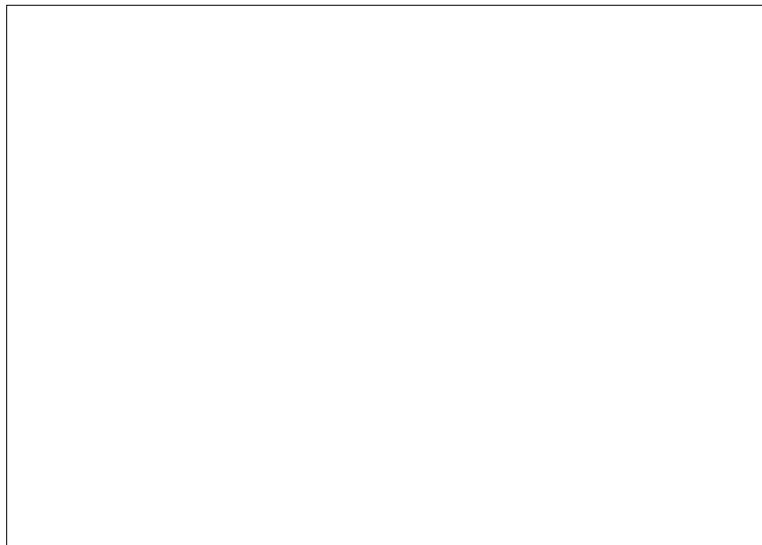


写真-②

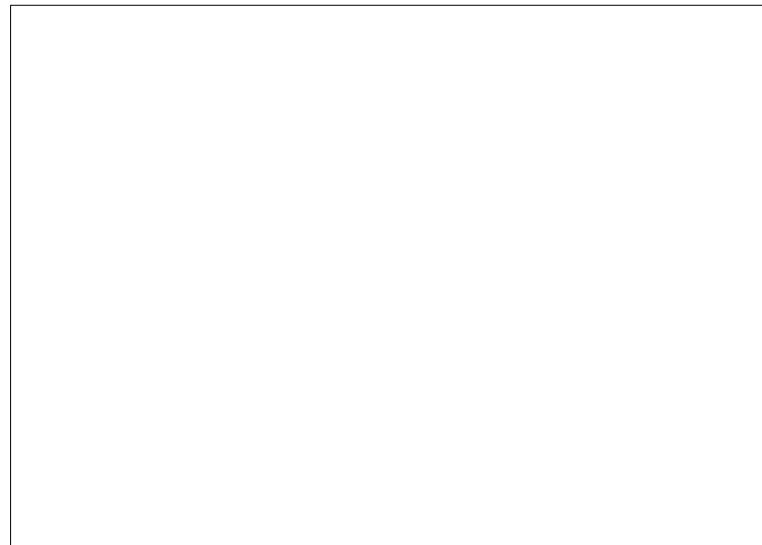


写真-③

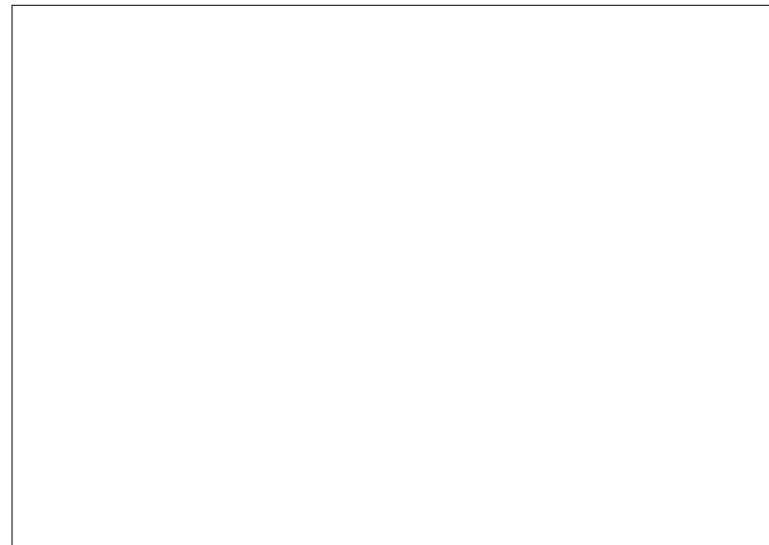


写真-④

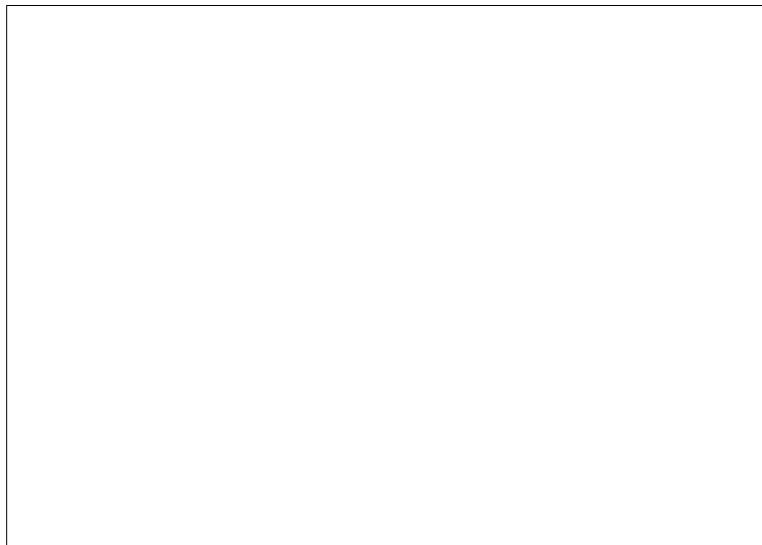


写真-⑤

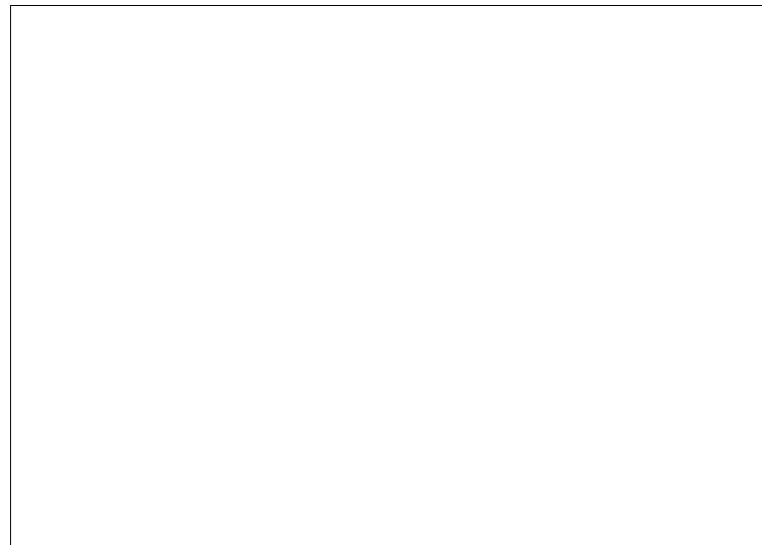


写真-⑥

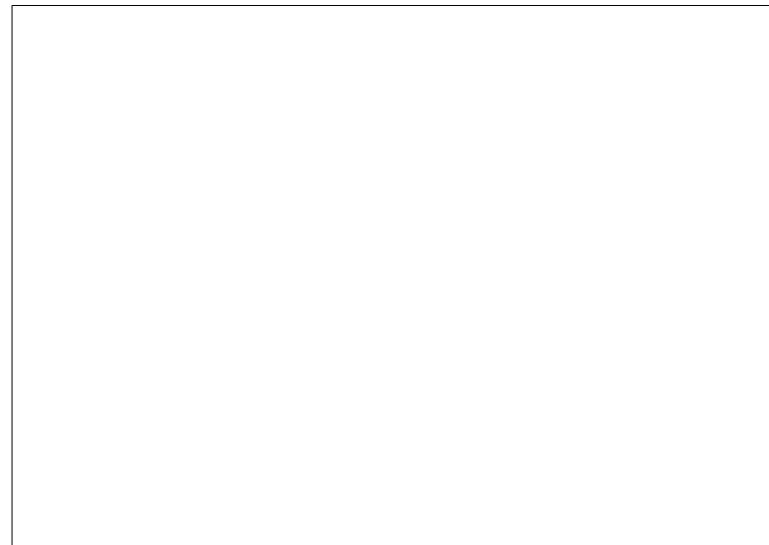
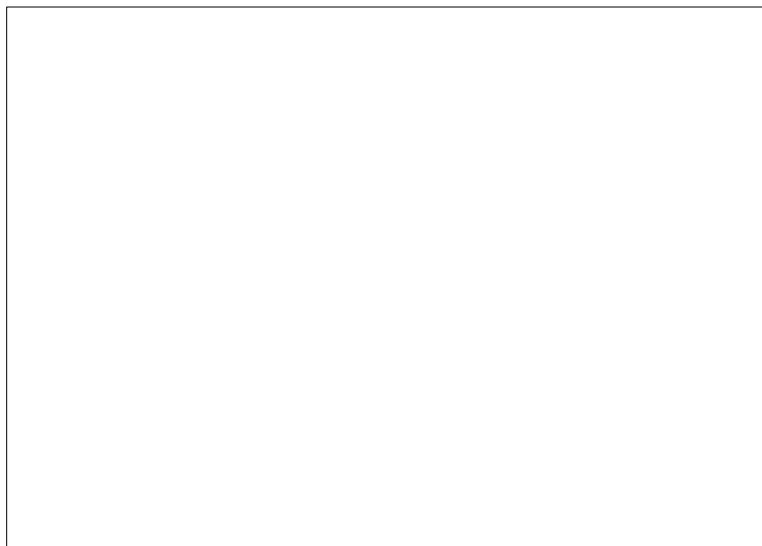


写真-⑦



工事名	太陽光発電敷地造成工事		
図面名	現況写真		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:200	図面番号	資料-5(現況写真)
会社名	oooooooooooo		
事業者名	oooooooooooooooo		

事業計画工程表

事業名称 太陽光発電敷地造成工事 工事

工事

作成日 令和〇年〇〇月〇〇日

委 任 状

令和〇年〇〇月〇〇日

委任者 住所 ◇◇◇◇

名前 ◇◇◇◇ 印

私は、以下の地域における「太陽光発電敷地造成工事」に伴う雨水浸透阻害行為許可申請に関する一切の権限を「△△△△（受任者）」に委任します。

〇〇〇〇（雨水浸透阻害行為区域の名称）

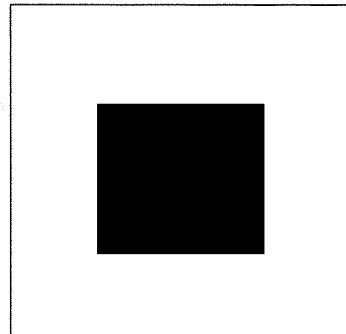
行為区域の住所が別記様式第2と一致しているか

受任者 会社名 △△△△

住所 △△△△

氏名 △△△△

印鑑証明書



会社法人等番号

[REDACTED]

商 号

[REDACTED]

本 店

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]



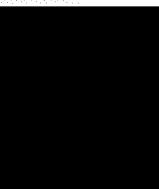
これは提出されている印鑑の写しに相違ないことを証明する。

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]



[REDACTED]

[REDACTED]